

第4回 東旭川まちづくり推進協議会議事録

日 時： 令和6年12月19日（木）午後6時00分から午後7時15分まで

場 所： 東旭川公民館 講堂

出席者： 磯石会長 西山副会長 池本委員 石川委員 踊場委員 亀上委員 小西委員
佐藤（翔）委員 椎名委員 谷川委員 中村委員 二階堂委員
以上はまち協委員12名

オブザーバー： 社会福祉協議会：飛世氏 社会教育課：伊藤主任

事務局： 羽田野支所長，岡本副支所長，井口主査，植松主任

1 開 会

2 会長挨拶 東旭川まちづくり推進協議会 会長 磯石浩二

3 議 題

(1) まち協に関するご意見や今年度後期及び来年度に行いたい事業について

ア まち協に関するご意見

事務局からまち協の意義や会議における発言・参加，事務局の考え・関わり方などについて説明があった。

(質疑応答)

Q：多くの人が集まる会議であるため，沈黙のまま会議が終了してしまうのはもったいないので，みんなで意見を出して，それに話し合っていくということは必要だと思う。

A：承知した。

Q：来年度の計画は今年度中に決めるべきだと思うので，来年度入る前に集まって決めた方が良い。

A：今年度中に来年度の計画を決めることができるように調整する。

Q：後継者不足という課題については，まち協のPRをしていく必要があると思う。

SNSを使って情報発信するのはどうか。

SNSの活用に向けた部会を作り，検討するのはどうか。

A：SNSについては誰が運営するのか，どんな情報を発信するのかなど，ルール作りも必要であるため，今後検討していく。

イ 今年度後期及び来年度に行いたい事業について

事務局が各委員から出た今年度後期及び来年度に行いたい事業についての意見を発表した。

(質疑応答)

Q：まちづくりについての講演会の実施は，これからまち協を進める上でも大変参考になると思うので，ぜひ実施すると良いと思う。

A：講演会を実施するとしても，報酬や会場，参加者集めなどの課題があるため，関係機関に確認して，進めていきたい。

Q：SNSの活用について、経費はLINEなどでも無料から数万円くらいのプランがあるし、登録するときのメールアドレスはどうするか、新しく携帯電話を買うのかなど問題がある。ホームページを作成するとしても、業者に依頼するのか、どんな仕様にするのかなど考えることはある。あまり技術的に難しいホームページを作っても、まち協で継続的に運用していけるものでないと意味がない。

A：各委員の意見を参考にして、委員に協力してもらい検討していく。

(2) 来年度の事業計画について

事務局から来年度の事業計画及び予算について説明があった。

(質疑応答)

Q：予算を増額する方法はないのか。

A：増額した金額で予算要求するしかないが、要求した金額が予算として付くかは分からない。補助金以外で民間企業の協力や寄付などで予算を集めることが可能か担当部署に確認してみる。

Q：回覧板を見ない家庭も増えている。年1回、事務局で発行している地域情報紙はどのくらいの効果があるのか。

A：紙での発行を止め、電子データで見たい人だけ見ることができるような形にすることも含めて検討したい。

Q：予算の詳細は各部会での話し合いも必要であることから、各部会を開催する必要があるのではないか。

A：各部会長と連携し、部会を開催する。

4 閉 会